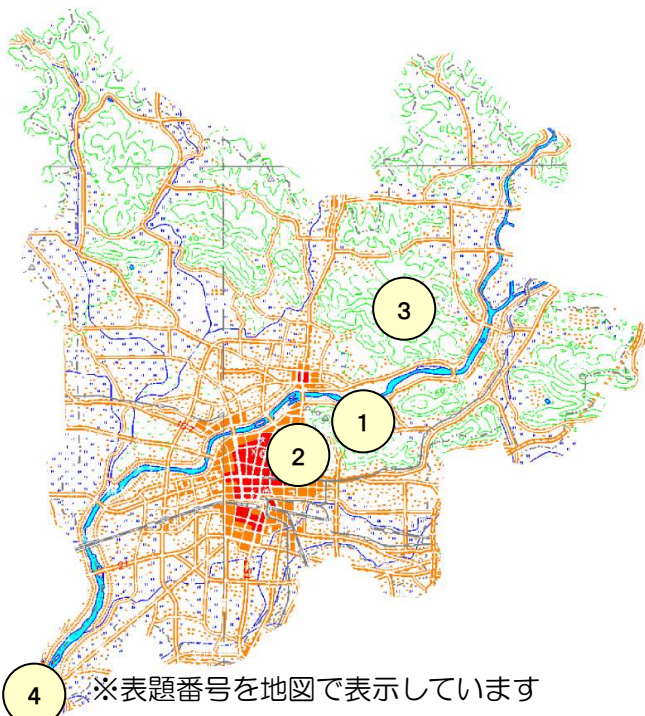


岐阜市自然・環境活動ニュース

2010年9月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



4 ※表題番号を地図で表示しています

①達目洞がCOP10で紹介されます

達目洞自然の会が、10月に名古屋で開催されるCOP10/MOP5の会場で配布される資料(パンフレット)で紹介されます。

生物多様性を考え行動する日本人1(希少種保全編)に、掲載される予定です。また、岐阜高校自然科学部生物班の取り組みも紹介されます。

その記事の一部を以下にご紹介します。



COP10

『◆次代を考える◆農地生態系一次世代の里山像一』

里山は本来、農業の場として活用され、農家により維持されてきた。しかし、農家の高齢化や後継者不足により放棄される農地が後をたたず、さらに開発によって日本の里山が消失の危機にある。

ここ達目洞も同じ状況にあったが、道路開発の際に発見された「ヒメコウホネ」を守ろう!と地元や行政から声があがった。彼らは、「必要なのは時代にあった里山像であり、昔のままの里山ではない」と言う。

ヒメコウホネをシンボルとして、親子の自然観察の場、農作業の場、虫採りなど遊びの場、異なる目的の人々がこの場に関わることで、里山がイキイキしている。そして何よりも彼らの広い懐と人懐っこさが、この地のパワーとなり人を集めている。』

②岐阜小学校の子どもたちが金華山を訪れました

8月22日に、岐阜小学校6年生のみなさんが金華山を登りました。サポートは金華山サポーターズの皆さんです。

今回の金華山登山は、6年生の保護者が中心となって実施した合宿の一環として行ったもので、6年生63名(と、数名の弟妹)と保護者の方たち10名ほどが参加されました。当日は、暑さと寝不足から途中でバテてしまう子どももいましたが、頂上まで登り切ったときには、達成感に満ちた表情を見せてくれました。



学年が上がるにつれて地元の子どもたちでも金華山に登る機会が少なくなっていますが、樹木や動物など、自然についても話を聞きながら金華山を登ったことで、家に帰ってからも「イノシシがいるんだよ」「チョウの羽化が見られたよ」など、親子の会話がはずんだようです。



〈川瀬会長の説明をみんな熱心に聞いています〉

③「夏休み親子で下刈り」が開催されました

8月8日は岐阜県が制定する「ぎふ山の日」です。NPO 法人ぎふし森守クラブでは、その協賛行事として「夏休み親子で下刈り」を開催しました。

当日は、新聞・ラジオで連日熱中症の報道があり参加者数を心配されましたが、「ながら川ふれあいの

森・古津側駐車場」に森守会員16名作業の準備のため早めに集合。

親子1組・一般参加2名・長良小の先生が森林保全の実態経験



と来季の児童の参加下見の為、参加されました。

午前9時からドングリの森・花木の森・野鳥の森で下草刈り開始、参加者の皆さんは、猛暑の中、午前中の作業となりました。さすがは森守クラブの皆さんは引き続き午後3時までの作業。

くれぐれも熱中症にはご注意ください。

④「長良川流域子ども交流会」の開催報告

8月23日(土)～25日(水)の3日間、三重県志摩市のともやま公園周辺、鳥羽市の海の博物館で、「長良川子ども交流会」志摩の海で森・川・海を体験しよう！が開催されました。平成20年の郡上市、平成21年の岐阜市に続き、今年で3回目の開催です。

長良川流域やその周辺の小学2年生から中学2年生の子どもたち100名が、志摩市ともやま公園野外活動センターに集まりました。

郡上市、美濃市、関市、岐阜市、各務原市、大垣市、羽島市、桑名市、木曾岬町、鈴鹿市からの参加です。岐阜市からは、58名の参加でした。



〈120名をこえる集合写真です〉

スタッフは協議会のメンバーの他、岐阜大学教育学部、四日市大学環境情報学部、名古屋大学大学院環境学研究科の皆さんも応援に駆けつけてくれました。

到着後、炎天下の中で、大学生スタッフの指導で、ネイチャーゲームです。

夕食は、みんなで飯ごう炊飯です。カレーライスを作りました。

男子はジャガイモの皮むきに四苦八苦・・・

お味は完璧、みんな完食でした。夕食後は、海ホテルの観察に出かけました。懐中電

灯に照らされた夜の海は、生き物がいっぱい。海ホテルの捕獲も成功し、神秘的な発光も観察できました。

翌日は、近くの次郎六郎海水浴場で海の活動です。干潮に合わせて、磯探検です。

ヤドカリや稚魚、アサリ、ゴカイなど、海の生き物を



観察しました。

昼からは待ちに待ったシーカヤック体験です。志摩自然学校

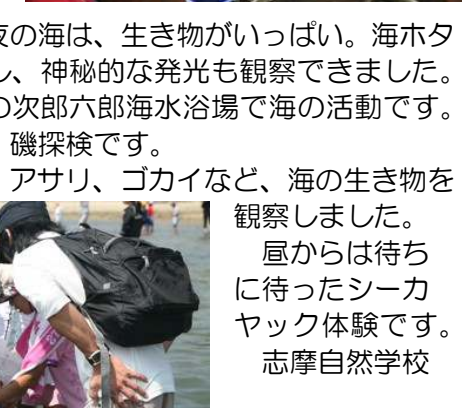
のインストラクターの皆さんの指導を受けいざ海へ・・・

海風は気持ちよかったです。

最終日は、鳥

羽市の海の博物館を訪れました。学芸員の平賀さんから、伊勢湾の漁業や長良川と伊勢湾のつながりの話を聞きました。

長良川をはじめとする木曾三川の流れは、海流の関係で、三重県側へ流れ出、志摩や鳥羽の海の恵みは長良川流域や岐阜県の森の栄養で成り立っているそうです。3日間の海の活動を通じ、森・川・海のつながりや長良川のすばらしさを実感してもらえたでしょうか？ 沢山の友達が出来たかな？



—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL : 058-265-4141 (内線 : 6541) FAX : 058-267-1374

Email : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>